

江幡太瓏先生選評



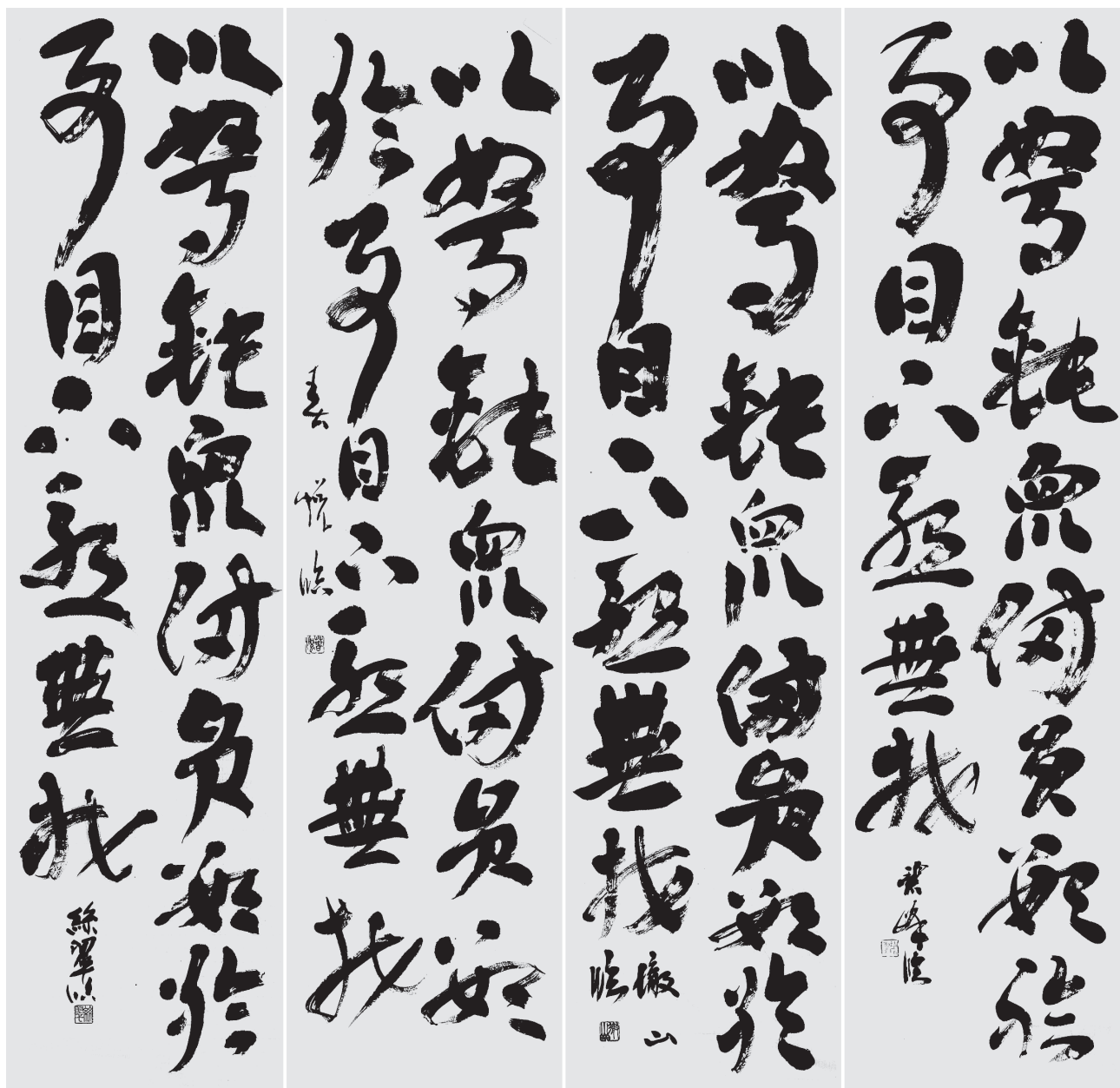
香川 絲 翠 推選
ねじれやひねり筆の開閉、落筆の高さ、露鋒、藏鋒を巧みに取り入れ潤渇も程良く動きのある作品お見事です。「か」の三画目の位置が気になります。ご一考を。

吉澤 伊津子 推選
紙面一杯に動き回り、リズム良く若々しさを存分にアピールできましたね。線も深く明るいのです。一つ残念なのはお名前です。素晴らしい本文に合わせましょう。

水野 弥 奈 推選
「梅」もつと墨欲しかったが相変わらず力む事なく、余白を上手く生かし白の美しい作となりました。大小、太細の変化もお見事です。この調子、この調子！

江戸 聖 采 推選
何と言ってもリズムが素晴らしい！意先筆後が見事です。筆圧の軽重も良く、潤渇も程良く、気持ち乗って書けていますね。「路」足偏の横線はやや長すぎたかな？

高野清玄先生選評



藤井碧峰 推選
柔らかく温もりのある羊毛の線が遅速の変化のある運筆によって立体感のある作品にした。字間の間の取り方が巧みで呼吸に余裕があり落着きがあり白が美しい。

中島徹山 推選
筆圧強く大胆不敵、他を寄せつけない黒で圧倒した。しかしグイグイと書き込む強さはかりでなく、それを引き立てる軽い筆致が上手く渴筆を作り効果をあげた。

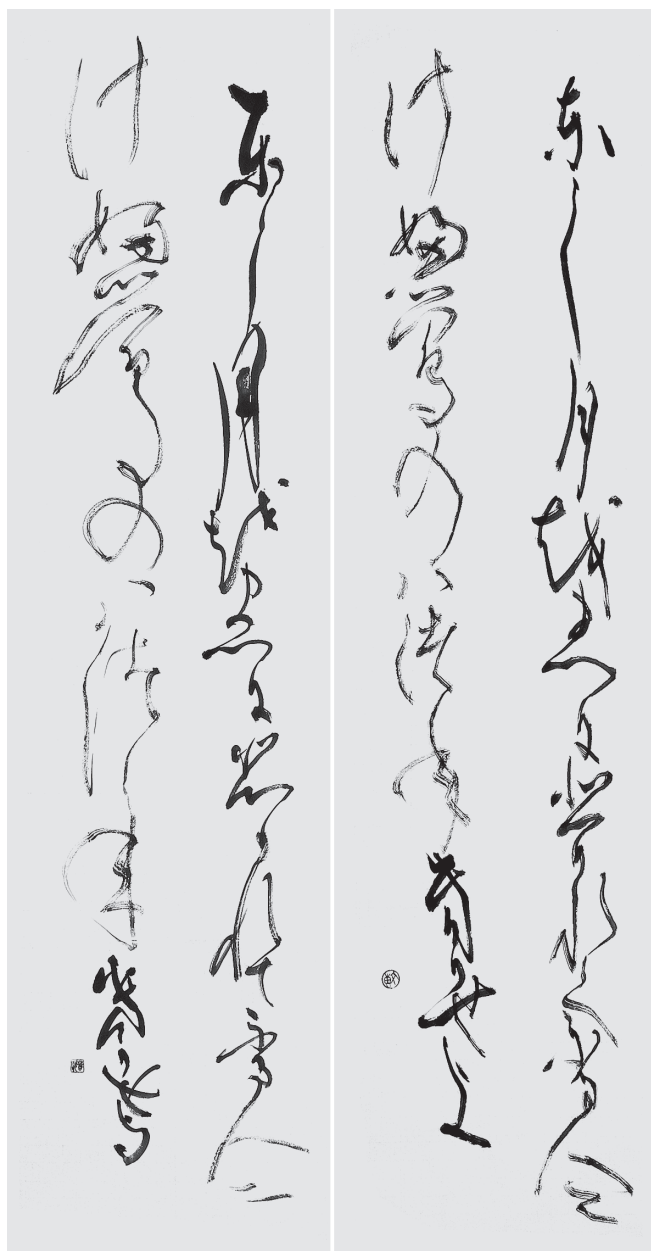
数井春悦 推選
筆毛筆先が立ち上がり軽いリズム感がいい。書かれてゆく文字線を目で追ってゆくと音楽が奏でられ聞こえてくる。観る者を楽しい木簡の世界へ誘ってくれる。

香川絲翠 推選
明るく伸びやかで健康的な作である。空間が美しく、滲みは潤いを感じさせる。コロコロと笑い声をあげながらその生き生きとした生命感を書線に託せた快作だ。

笠原博子先生選評



露崎桂子先生選評



金子 恵 準八
粘りある、しなやかな線質は伊勢集としっかりと向き合う学びの深さを感じます。作品下部の文字がやや大きくなり拡がったのが惜しい。

日浅尚子 準六
行間、行頭、行尾と文字の置き方が的確です。次へ次へと繰り出してくる連綿のなめらかな線条の美しさ。格調高く仕上がりました。

山田 梓 準四
筆先はしっかりと紙を捉え、しなやかさの中に勁さもあり引き締まっています。墨色からでしょうが、潤渴表現をしつかり出すと尚良かった。

徳永ひろみ 師範
原帖をしつかり読み取り、ポイントを押さえている。丁寧でしなやかな筆線は作品全体を温かく包み込んでいます。下部に渴筆表現があると尚佳。

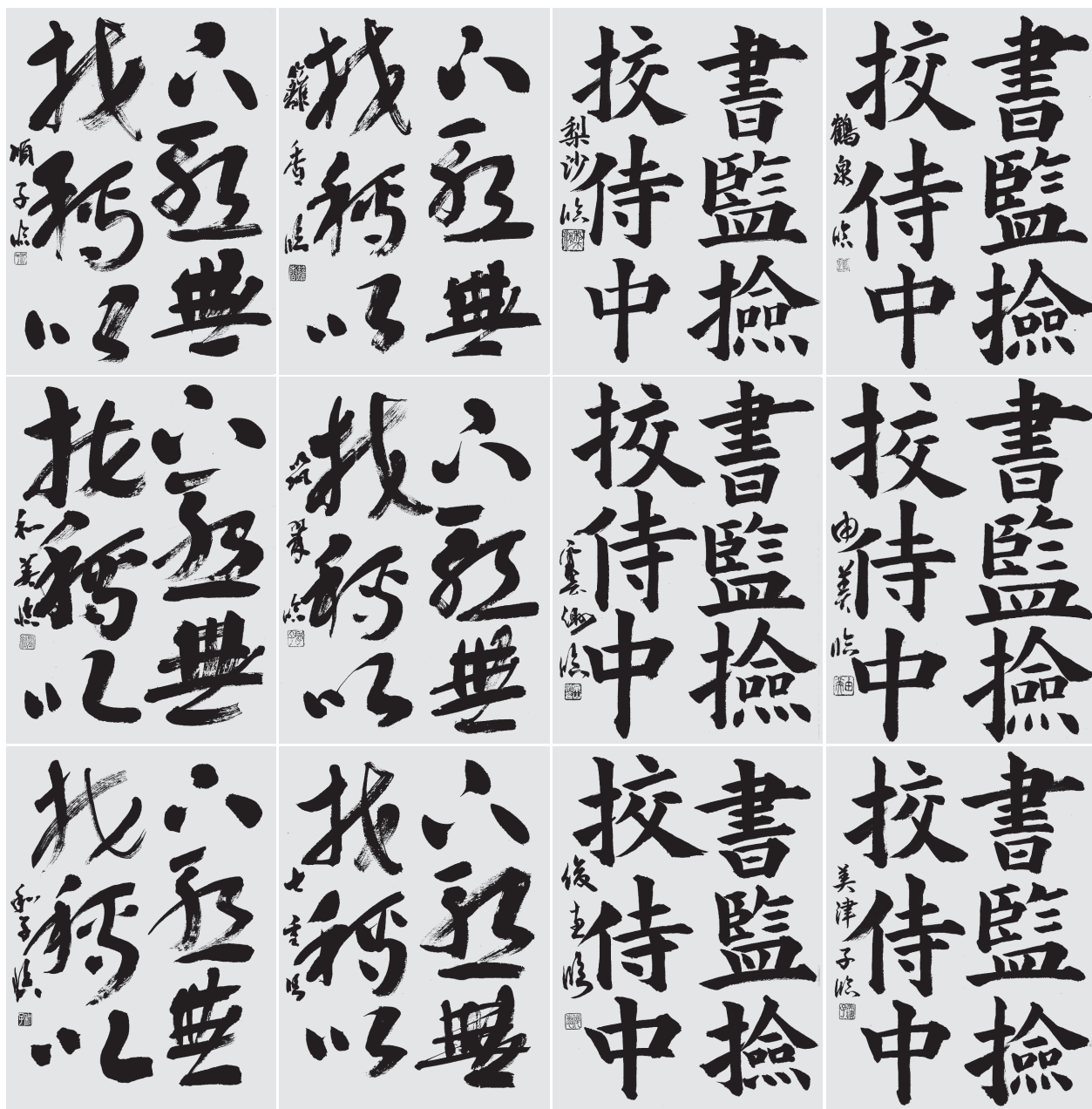
徳田輝子 師範
筆の浮沈とねばりある線条は、伊勢集の特徴をしつかりと捉えている。散らしも工夫をされ、余白を上手く使って、明るい作品となりました。

龍野葉子 八段
少し濃いめの墨色と潤渴の変化が美しいハーモニーを奏でています。筆を立てた筆線は引き締まり、テンポよく全体を上手くまとめ上げました。

数井春悦 推選
参考作品の雰囲気良く捉えています。運腕大きく、文字の大小の変化もしっかりと表現していますが、「驚」はやや小さく、行間がもう少しあると落ち着きます。

工藤文恵 推選
丁寧な筆遣いで、筆勢もあり、流れも良く、一行目を上手く纏めました。墨色の変化も自然で美しく、終句の四文字がきちんと受けて心地良い作となりました。

藤田壽樹先生選評



神田鶴泉 師範

小振りな字形に拘らず雄大な空間を表現。神経の行き届いた隙の無い整然とした佇まいが素晴らしい。落款も含め完成度が高い。流石師範の作。

曾場梨沙 三段

直線的で切れ味の良い引き締まった線。起筆・終筆・転折・払いの技術の素晴らしさ。的確な背勢の佇まい。凛とした表現で素晴らしい出来栄。

村田籬香 師範

控え目で穏やかな書きぶり。その中に熟練の技量を見せて味わい深い。肩に力の入らない清々しい表現が全体を良く支え、妙麗な雰囲気醸す。

井上順子 八段

やや厚い用紙に適度な濃度の墨液をうまく生かして充実している。軽やかな運筆も素晴らしい。一気果敢な作品表現で精彩がある。

川上由美 五段

この用紙の使い勝手はどうか、と想像しながら拝見。良く沈潜した線、隅々まで行き届いた筆遣い。特に止めやはね等端正で完璧な仕上がり。

栗山雲渺 準三

点画を良く引き締め厳しさの中にも品格のある表現を現出。「書・侍・中」の字形の縦長をうまく収めた。特に「中」の縦画が見事。落款の「雲」は疑問。

小塩筑翠 師範

澀刺とした筆致で冴えた線、通貫性のある運筆のリズムで軽妙な躍動感がある。文字の大小の変化を巧みにつけて流石。章法も素晴らしい。

伊堂寺和美 六段

墨量豊かに柔毛筆を駆使した厚みのある線が魅力。重厚な印象の中に太細の変化を折り込み充実した気分と安定感が目を惹く。字間に余裕があれば更に佳。

小笹美津子 準五

一点一画を真摯な態度で取り組んでいることが良く伝わる。全体の構成への注意も大切にしており、字内空間や収め方等作品に輝きがある。

大里俊恵 六級

良く沈潜した線で堂々としている。落款も書き慣れた安定感のある書きぶりでありかたの腕前の方と思う。字形の縦長なるを意識して欲しい。

田淵七重 準師

大胆で一本気な印象の作品。そこが木訥な表情を出すことに繋がって成功している。上手く纏め上げて清澄清廉な作となり魅力的だ。

小野和子 三級

気負いのない軽快で洒脱な書きぶりが穏やかで、上品な雰囲気を出している。筆の上下動を活かした線の瑞々しさが印象的で輝いている。